

認知症 安心 ガイドブック

認知症になっても
安心して暮らせるまち 新潟市



この「認知症安心ガイドブック」には、認知症に対する不安を減らすことができるよう、認知症のことや進行に合わせて受けられる新潟市の様々な介護サービスや支援制度などの情報がまとめてあります。

新 潟 市



やさしさつなぎ、広がる笑顔、新潟市

令和8年7月発行

新しい認知症観

新しい認知症観とは、認知症になったからといって何もできなくなるのではなく、認知症になっても一人一人ができること、やりたいことがあり、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

高齢化が進み、認知症の方は今後もさらに増えていくことが見込まれています。このため、私たちは、誰もが認知症になり得るものとして理解していく必要があります。

決して他人ごとではない認知症ですが、症状が相当進行するまでは、生活に必要な能力が失われることはありません。認知症になっても自分らしく生きている人はたくさんいますし、むしろ、そうした人のほうが多いかもしれません。

認知症は、私たちの人生の一部です。認知症を「自分ごと」としてとらえ、正しく理解していただくとともに、認知症になっても希望と尊厳を持って安心して暮らすことができるまちを、一緒に創っていきましょう。

目次

認知症について	新しい認知症観 P.1 ～認知症は誰でもなり得る可能性があります～ 簡易チェック表で確認してみましょう！ P.2
対応・支援	【認知症進行度別】利用できる制度やサービスの主な例 P.3～4
認知症について	認知症とは P.5～8 認知症の症状 認知症の原因となる主な脳の病気 軽度認知障がい（MCI）とは 早期発見・診断・治療の重要性 むすびあい手帳をご活用ください P.8
その他の支援	認知症の進行と主な症状の例 P.9～10 認知症の人との接し方ポイント P.11
対応・支援	本人・家族向けアドバイス P.11～13 気づき～軽度の時期 中等度の時期 重度の時期 若年性認知症について P.14
認知症について	家族も自分を大切に P.15
その他の支援	認知症の発症や進行を遅らせよう P.16
交流・予防	【目的別】利用できる制度やサービスの主な例 P.17
相談	相談したい P.17～18
介護	介護保険サービスの利用 P.18
受診	受診したい P.19
財産・権利	財産・権利のこと P.20
その他の支援	その他の支援・制度 P.21 認知症について一緒に学んでみませんか？ P.22

「障がい」の表記について

新潟市では、「障害」の「害」の字が持つマイナスイメージや当事者への配慮から、原則的にひらがなで表記することになりました。「障がい」の表記は、本来法律に基づき漢字表記をしなければならないものもありますが、この冊子ではひらがなで「障がい」と表記しました。